

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375300270
事業所名	グループホームもみの木

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 地域における認知症介護の専門家として、地域の徘徊訓練「たすけ隊」に関わり、認知症高齢者の情報周知の役割を担っている。今年度3回目になる訓練が11月に開催されたばかりであり、地域貢献の一つとして取り組んでいる。地域からのボランティアを積極的に受け入れ、ホームの庭の手入れや畑の手伝い等を受け持っていたり園芸ボランティア、毎日の散歩に付き添っていただく散歩ボランティア等、利用者との交流の機会が多い。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 年6回の会議を開催している。毎回盛況で、活発な意見交換の場となっている。ホームの運営状況の他、認知症介護についての情報発信に努め、正しい理解の周知に努めている。会議内の意見や提案は職員周知で取組み、ホームの運営に活かしている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 運営推進会議には、行政担当並びに地域包括支援センターの参加が得られ、共に地域の認知症高齢者介護を考える関係にある。町の高齢者保健福祉総合計画推進委員会に参加し、虐待ネットワークや徘徊訓練等の活動がある。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 日常の面会やホーム行事等、家族の来訪は多く、直接の意見の聴き取りを行っている。意見や提案、希望や意向については職員間で話し合い、最善の対応に努めている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎				